

## 「新指定・新登録」答申物件

### 《特別史跡の新指定》

#### 【特別史跡】 1件

##### 1 さきたまこふんぐん さいたまけんぎょうだし 埼玉古墳群【埼玉県行田市】

5世紀末から7世紀初頭にかけて大宮台地おおみやだいちの先端に築かれた、前方後円墳8基、大型円墳1基及び小型円墳群からなる我が国を代表する古墳群。調査・整備・活用の取組を長期にわたり継続し優れた実績を上げており、我が国文化の象徴として極めて重要。

(前方後円墳8基、大型円墳1基及び小型円墳群からなる我が国を代表する古墳群)

### 《史跡の新指定》

#### 【史跡】 15件

##### 1 こやまざきいせき やまがたけんあくみぐんゆざまち 小山崎遺跡【山形県飽海郡遊佐町】

縄文時代中期末から後期を中心とする集落と、周辺の水辺環境の利用を目的とした土木構造物である水辺遺構みずべいこうが良好な状態で保存されていた遺跡。周辺自然景観や、古環境に関する知見も豊富であり、本州日本海沿岸北部における縄文文化を解明する上で重要。

(縄文時代中期末から後期を中心とする集落及び水辺遺構が一体的に保存された遺跡)

##### 2 いそはまこふんぐん いばらきけんひがし いばらきぐんおおあらいまち 磯浜古墳群【茨城県東茨城郡大洗町】

茨城県中部、那珂川・涸沼川水系の河口部に位置する古墳時代前期から中期初頭の古墳群。前方後円墳2基、前方後方墳1基、円墳1基ほかの6基ひさげづかこふんからなる。日下ヶ塚古墳は墳長約101.4mの大型前方後円墳で、人骨のほか鏡2面・石製模造品・玉類・鉄製品など約4,000点の豊富な副葬品ふくそうひんが出土し、車塚古墳くるまづかこふんは直径約88mで、全国屈指の規模を誇る。古墳時代前期から中期初頭の関東における古墳の展開を考える上で重要。

(古墳時代前期から中期初頭の河口部に位置する前方後円墳2基、前方後方墳1基、円墳1基ほか6基からなる古墳群)

### 3 上野国多胡郡正倉跡【群馬県高崎市】

和銅4年（711）に建郡された、上野国多胡郡の田租や出挙で徴収した稲などを収納する倉庫群跡。特別史跡多胡碑の真南約350mに位置し、発掘調査によれば正倉の創建は8世紀前半である。律令国家の税の徴収や地方支配の在り方を考える上で重要。

（特別史跡多胡碑の真南に位置する8世紀前半に創建された古代倉庫群跡）

### 4 神明貝塚【埼玉県春日部市】

奥東京湾最北部の汽水域に形成された縄文時代後期前半の馬蹄形貝塚を伴う集落遺跡の中でも最大級の規模を持つ遺跡。集落域と貝層のほぼ全体が良好な状態で保存されており、豊富な動植物遺存体と出土石器等から、集落を営んだ人々の生業形態とその地域性を知ることができる点で重要。

（奥東京湾最北部に形成された縄文時代後期前半の馬蹄形貝塚を伴う大規模集落遺跡）

### 5 午王山遺跡【埼玉県和光市】

埼玉県東南部、荒川を望む独立丘陵上に位置する弥生時代後期の大規模な環濠集落。150棟以上の竪穴建物と丘陵縁辺部に掘削された多重の環濠が検出された。北関東系や南関東系の複数の他地域の出土遺物が認められ、関東における弥生時代後期の地域間交流の実態を考える上で重要な集落遺跡。

（弥生時代後期の独立丘陵上に立地し、地域間交流を示す遺物が出土する環濠集落）

### 6 光明山古墳【静岡県浜松市】

5世紀中葉に天竜川東岸の丘陵先端に築かれた墳長83mの前方後円墳。墳丘は2段築成で葺石と埴輪を持ち、特に後円部上段には基底部分から墳頂まで続く葺石の区画石列が良好に残る。古墳時代中期の古墳築造の在り方の転換を明瞭に示す事例として重要。

（5世紀中葉に天竜川東岸の丘陵先端に築かれた、墳長83mの前方後円墳）

### 7 永原御殿跡及び伊庭御殿跡【滋賀県野洲市・東近江市】

徳川家康、秀忠、家光が上洛の際に利用した宿泊所や休憩所跡。両御殿とも中山道の脇街道である朝鮮人街道付近にある。永原御殿跡は本丸、二の丸などからなり本丸には堀と土塁が残る。伊庭御殿跡は単郭で石垣が残る。江戸初期の政治状況を知る上で重要。

（朝鮮人街道付近に位置する、徳川将軍が上洛の際に宿泊や休憩をとった御殿跡群）

## 8 あたぎしじょうかんあと わかやまけんにしむろぐんしらはまちょう 安宅氏城館跡【和歌山県西牟婁郡白浜町】

列島の東西を結ぶ海上交通の結節点である紀伊半島南部を本拠とする水軍領主、安宅氏の城館。豊富な史料と良好な状態で保存されている城館群は、鎌倉時代から戦国時代の水軍領主の活動や領域支配の実態と紀伊半島の政治情勢を知ることができる希有な事例。

(鎌倉時代から戦国時代の水軍領主の活動や領域支配の実態を知ることができる希有な遺跡)

## 9 おおもとこふんしまねけんますだし 大元古墳【島根県益田市】

日本海を望む丘陵上に4世紀後葉に築かれた墳長85mの前方後円墳と径12mの円墳。古墳時代前期の前方後円墳としては本州の日本海側で最も西に築造されたもので、古墳の各地への展開とヤマト政権の影響の広がりを知る上で重要。

(日本海を望む丘陵上に4世紀後葉に築かれた前方後円墳と円墳)

## 10 さぬきこくふあとかがわけんさかいでし 讃岐国府跡【香川県坂出市】

発掘調査により国府成立の前段階から衰退に至る、7世紀中葉から13世紀にかけての国府域の変遷を知ることができるとともに、『菅家文草』の記載や付近の地割りなどから国府と周辺景観を復元することができるなど、古代国家による地方支配の実態を知る上で重要。

(古代讃岐国の国府跡で、周辺も含めた古代の景観復元や古代国家の地方支配の実態を知る上で重要。)

## 11 ひけたじょうあとかがわけんひがし 引田城跡【香川県東かがわ市】

瀬戸内海の交通の要衝地、国境付近という軍事・経済上の拠点に立地し、高松城、丸亀城とともに生駒氏による領国支配の拠点として機能。慶長期の城郭が良好に保存されているだけでなく、豊臣系大名の経済・軍事政策や領国支配体制を知る上で重要。

(戦国時代末期に生駒氏により整備された城。当時の経済・軍事政策や領国支配を知る上で重要。)

## 12 あえかんがいせきふくおかけんかすやぐんかすやまち 阿恵官衙遺跡【福岡県糟屋郡粕屋町】

政庁、正倉といった官衙を構成する施設が良好な状態で検出されるとともに、西海道駅路等の道路網や官衙の立地環境が判明。成立は評の段階まで遡り、8世紀後半

までその変遷をたどることができるなど、地方官衙の立地や成立時期、変遷を考える上で重要。

(古代糟屋評(郡)の役所跡。地方官衙の立地や成立時期、変遷を考える上で重要。)

### 1.3 杵築城跡【大分県杵築市】

豊臣政権から江戸幕府の成立、安定へと向かう社会・政治情勢の変化に応じて、その構造を大きく変えることが確認された城跡。「一国一城令」による破却以前の城の建物構成や構造が分かるなど、江戸時代初期の城郭の実態を知る上でも重要。

(守江湾に面する丘陵に位置し、その変遷は戦国から江戸時代の社会・政治情勢の変化によく対応している。)

### 1.4 鹿児島島津家墓所【鹿児島県鹿児島市・指宿市・垂水市・始良市・薩摩郡さつま町】

鹿児島藩主島津家歴代の墓所、一門家(越前・加治木・垂水・今和泉の各島津家)の墓所、一所持の宮之城島津家の墓所として営まれたもの。国持大名や有力家臣団としての威厳と風格を備え、一定の規範のもと各墓所の独自性も認められ、鹿児島藩における墓制、階層構造を知る上で貴重。

(鹿児島藩主島津家歴代の墓所と、一門家4家及び一所持1家の墓所からなる近世墓所群)

### 1.5 白保竿根田原洞穴遺跡【沖縄県石垣市】

多量の化石人骨を伴って後期旧石器時代に当たる更新世末期の墓葬及び墓域が発見された日本で初めての事例。完新世初頭から縄文時代後期に当たる時期の墓葬と合わせて、石灰岩洞穴や岩陰を利用した葬送習俗の長い歴史をたどることを可能とした。人骨そのものからも遺伝学的、形質人類学的な重要知見をもたらした画期的な意義をもつ。

(多量の化石人骨を伴う更新世末期の墓地遺跡)

## 【名勝】 4件

### 1 成田氏庭園【青森県弘前市】

江戸時代末期から近代にかけて津軽地方に特徴ある作庭技法を継承した大石武学流庭園の優秀な事例のうち、流派の作庭規範を典型的に示しているとともに全体構成を良好に伝えている。大石武学流宗家5代の池田亭月の代表作として重要なもの。

(昭和7年に池田亭月によって作庭された庭園で、大石武学流の規範をよく示している。)

### 2 對馬氏庭園【青森県弘前市】

江戸時代末期から近代にかけて津軽地方に特徴ある作庭技法を継承した大石武学流庭園の優秀な事例のうち、観賞軸線を斜めとする点に特徴を有する。大石武学流宗家5代の池田亭月から宗家6代の外崎亭陽への作庭流儀の継承を考える上で重要なもの。

(池田亭月の作庭を基礎として外崎亭陽が手を加えた大石武学流庭園で、斜めの観賞軸線に特徴がある。)

### 3 須藤氏庭園(青松園)【青森県弘前市】

江戸時代末期から近代にかけて津軽地方に特徴ある作庭技法を継承した大石武学流庭園の優秀な事例のうち、明治時代末期に宗家4代の小幡亭樹により作庭されたと伝えられる庭園。座観と逍遙の観賞形式を併せ持ち、亭樹の作庭技法をよく示している点で重要なもの。

(明治時代末期に作庭された大石武学流の池泉庭園で、小幡亭樹の作風を知る上で重要なもの)

### 4 哲学堂公園【東京都中野区】

哲学館(後の東洋大学)創始者の井上圓了が、精神修養の普及を目的として、ソクラテス、カント、孔子、釈迦を祀った四聖堂を明治37年に建築した私設公園を起源とするもので、昭和時代初期にわたって造営された哲学を主題とする都市公園の固有な事例。

(哲学者井上圓了が、明治時代末期から精神修養を目的に造営した公園)

## 《登録記念物の新登録》

### 【遺跡関係】 1件

#### 1 にかりょうようすい かながわけんかわさきし 二ヶ領用水【神奈川県川崎市】

けいちょう 慶長16年(1611)、たまがわ 多摩川右岸の低地(いなげりょう かわさきりょう 稲毛領・川崎領)の新田開発を目的として開削された用水である。近代以降、桃畑や梨畑にも利用され、昭和になると工業用水としても利用された。近世・近現代の川崎の歴史を理解する上で意義深い。

(慶長16年(1611)に造られ、多摩川右岸の低地を潤した用水)

## 《登録記念物の新登録》

### 【名勝地関係】 4件

#### 1 そめや していえん ちばけんかしわし 染谷氏庭園【千葉県柏市】

江戸時代に名主役を務めた染谷氏の庭園。主屋に南面する庭園、長屋門等の建造物、旧畑地のほか、アラク山と呼ばれる屋敷林等が一体となって、幕末から近代にかけて整備された旧家の屋敷地の地割や庭園の様子をよく伝えている。

(幕末から近代にかけて、建造物、屋敷林等と一体的に整えられた旧家の庭園)

#### 2 うおづうら しんきろう おたやあと とやまけんうおづし 魚津浦の蟹気楼(御旅屋跡)【富山県魚津市】

発生地域や時期が限定される稀有なじょういしんきろう 上位蟹気楼を生じる魚津浦の沿岸において、かんせい 寛政9年(1797)にかがはんしゅまえだはるなが 加賀藩主前田治脩が参勤交代で滞在した際に出現した蟹気楼を描かせた「きけんじょうのず 喜見城之図」が残されている。その滞在所であったおたや 御旅屋の跡地を登録するもの。

(蟹気楼の名所で、江戸時代に観賞記録が史料として残る御旅屋跡を登録するもの)

#### 3 ながみね していえん きゅうかわら していえん ながの けんながの し 長峯氏庭園(旧河原氏庭園)【長野県長野市】

江戸時代のまつしろ 松代城下に整備された3系統の水路を現代まで保ち、簡素なつくりの中に武家の庭園の趣を伝える池泉庭園。西にぞうざん 象山を控え、門の前を沿道の水路である「カワ」、敷地内を「泉水路」と畑地の水路である「セギ」が通る。

(江戸時代の城下町に整備された水系を保ち、武家の庭園の趣を伝える池泉庭園)

よこやま していえん み え けん み え ぐん こ も の ちやう  
4 横山氏庭園【三重県三重郡菰野町】

菰野地域の旧家である横山氏が、昭和43年（1968）に書院の新築と茶室の移築を行った際に、<sup>しげもりみれい</sup>重森三玲に設計を依頼して造られた庭園。心字形に築山を築いた表庭，斜線状の区切りを設けて間に赤砂と白砂を交互に敷いた裏庭等が特徴的である。

（菰野地域の旧家である横山氏の居宅に，昭和43年（1968）に重森三玲が造った庭園）